

<b>教科</b>	<b>国語</b>	<b>学年</b>	<b>第3学年</b>
-----------	-----------	-----------	-------------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「じこしょうかいビンゴゲーム」をしよう (話す聞く)	2	○「自己紹介ビンゴゲーム」を通して、自分のことを紹介し合う。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア ○相手を意識して、話の中心が明確になるように理由や事例などを挙げながら、話の構成を考えること。 ⇒思判表A(1)イ ○話の中心が伝わるように、場面を意識して言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ ○必要ことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。 ⇒思判表A(1)エ ○質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒思判表A(2)イ	相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(【知識及び技能】(1)イ)	「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(【思考力、判断力、表現力等】Aア)	進んで日常生活の中から話題を決め、学習の見通しをもって情報を集め、自分のことを紹介し合おうとしている。
かえるのびとん	2	□変や様子をイメージしながら、工夫して音読する。 △文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読すること。 ⇒知技(1)ク △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに気付くこと。 ⇒知技(3)オ ○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ □詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(【知識及び技能】(1)ク)	「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(【思考力、判断力、表現力等】Cイ)	進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って工夫して音読しようとしている。
ーばめのつなかりに気をつけて読もう	9 (書く)	□登場人物の行動や気持ちを思い浮かべながら読み、物語の続きを予想する。			
日い花びら		△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ △主題と語句の関係、修飾と被修飾の関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒知技(1)カ △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ ○語句に入った表現について、書こうとしたことが明確になっているかについて、文章の内容や表現のよさを発信すること。 ⇒思判表B(1)ア ○場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ ○場面の移り変わりや結びつけて、登場人物の性格や気持ちの変化、情景について具体的に思い描くこと。 ⇒思判表C(1)エ □文章などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ □文章などを読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つこと。 ⇒思判表B(1)オ □文章などを読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒思判表C(1)カ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ ■詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳：物語の読みをとおして、友達と互いに理解し、信頼し、助け合うことについての考え方を深める。	主題と語句との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(【知識及び技能】(1)カ)	「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているか、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよさを発信している。(【思考力、判断力、表現力等】Bオ)	進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを友達と紹介し合おうとしている。
「発見ノート」を作ろう	3 (書く)	■毎日の生活の中での発見や不思議に思ったことなどを「発見ノート」に書く。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書きたいことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にする。 ⇒思判表B(1)ア ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ☆理科：観察ノートへの応用を図ることができる。	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア)	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(【思考力、判断力、表現力等】Bア)	積極的に伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって「発見ノート」を作ろうとしている。
国語辞典の引き方	2	△国語辞典の引き方を理解し、辞典を活用する。 △様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(【知識及び技能】(2)イ)		積極的に辞書や事典の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を活用しようとしている。
二 すじみちを立てて発表しよう	6 (話す聞く)	○中心点をはっきりさせたり、理由を語えたりして自分の宝物を紹介し、友達の意見や感想をもとによりよい発表にする。			
たからものをしょうがいしよう		△言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア ○目的を意識して、日常生活において伝えたいことなどから話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、話題に合うことを選ばせること。 ⇒思判表A(1)ア ○相手や目的を意識して、話の中心が明確になるように理由や事例などを挙げながら、話の構成を考えること。 ⇒思判表A(1)イ ○話の中心が伝わるように、場面を意識して言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ ○必要ことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。 ⇒思判表A(1)エ ○説明や報告など、調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア	○【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア)	○【思判表】話すこと・聞くことにおいて、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Aイ)	【態度】粘り強く話の構成を考え、今までの学習を生かして自分の宝物を紹介しようとしている。
聞いてさがそう	2 (話す聞く)	○大事なことは何かを考えて、メモを取りながら道順の説明を聞く。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ ○目的を意識して、日常生活において伝えたいことなどから話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、話題に合うことを選ばせること。 ⇒思判表A(1)ア ○相手や目的を意識して、話の中心が明確になるように理由や事例などを挙げながら、話の構成を考えること。 ⇒思判表A(1)イ ○話の中心が伝わるように、場面を意識して言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ ○必要ことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心をとらえるとともに、話の内容を基に自分の考えを持つこと。 ⇒思判表A(1)エ ○質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒思判表A(2)イ	○【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(【知識及び技能】(2)イ)	○【思判表】話すこと・聞くことにおいて、必要なることを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(【思考力、判断力、表現力等】Aエ)	【態度】進んで必要なることを記録したり質問したりしながら聞き、学習の見通しをもって情報を集めようとしている。

漢字の広場 ① 漢字学習ノート	2	<p>△新しく学ぶ漢字や既習の漢字を使って漢字学習ノートを作る。</p> <p>△漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ</p> <p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ</p> <p>△漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。 ⇒知技(3)ウ</p>	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもって「漢字学習ノート」を作ろうとしている。
漢字の広場 ① 2年生で学んだ漢字 ①	2 (書く2)	<p>△絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ</p> <p>△簡単な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思 批判表B(1)ウ</p> <p>■時や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思批判表B(2)ウ</p>	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ
三 だんらくの要点をつかもう	12 (書く2)	<p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒知技(1)カ</p> <p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ</p> <p>△段落相互の関係に着目しながら、考えと理由、事例の関係などを叙述を基に捉えること。 ⇒思批判表C(1)ア</p> <p>□目的を意識して、中心となる語や文を見つけて内容を要約すること。 ⇒思批判表C(1)ウ</p> <p>□記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。 ⇒思批判表C(2)ア</p> <p>□学校図書館などを利用して、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。 ⇒思批判表C(2)ウ</p>	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ)	「書くこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)ア
うめぼしのはたらき	2	<p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒知技(1)カ</p> <p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ</p> <p>△段落相互の関係に着目しながら、考えと理由、事例の関係などを叙述を基に捉えること。 ⇒思批判表C(1)ア</p> <p>□目的を意識して、中心となる語や文を見つけて内容を要約すること。 ⇒思批判表C(1)ウ</p> <p>□記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。 ⇒思批判表C(2)ア</p> <p>□学校図書館などを利用して、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。 ⇒思批判表C(2)ウ</p>	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ)	「書くこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)ア
めだか	10 (書く2)	<p>□段落の要点に気をつけて読み、わかったことや大事なことをまとめる。</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒知技(1)カ</p> <p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ</p> <p>△幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ</p> <p>■書くこととするものの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思批判表B(1)イ</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思 批判表B(1)ウ</p> <p>□段落相互の関係に着目しながら、考えと理由、事例の関係などを叙述を基に捉えること。 ⇒思 批判表C(1)ア</p> <p>□目的を意識して、中心となる語や文を見つけて内容を要約すること。 ⇒思批判表C(1)ウ</p> <p>□文章などを読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つこと。 ⇒思批判表C(1)オ</p> <p>□文章などを読んで理解したことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒思批判表C(1)カ</p> <p>■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思批判表B(2)ア</p> <p>■感想や意見を伝え合い、書くこととしたことが明確になっているかなどについて、文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒思批判表B(1)オ</p> <p>■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思批判表B(2)ア</p> <p>☆理科：観察記録の書き方に活用することができる。</p>	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ)	「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)イ
俳句に親しむ	4 (書く1)	<p>△俳句の声に出して読み、言葉のリズムにふれる。</p> <p>△新しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 ⇒知技(3)ア</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思 批判表B(1)ウ</p> <p>■時や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思批判表B(2)ウ</p> <p>☆道徳：我が国や郷土の伝統と文化を大切にすること。</p> <p>☆図書館活用：俳句への関心を広げる。</p>	新しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(〔知識及び技能〕(3)ア)	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ
四 しりょうを集めて活用しよう	13 (書く10)	<p>△本の仕組みやつくりを知り、それをもとに知りたいたいことに応じた本を探して読み、必要な事例を「読書カード」に記録する。</p> <p>△知りたいたい情報を見つけるための方法を知り、それをもとに目的に応じた本を探して読み、必要な事例を「読書カード」に記録する。</p> <p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア</p> <p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ</p> <p>△幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ</p> <p>□目的を意識して、中心となる語や文を見つけて内容を要約すること。 ⇒思批判表C(1)ウ</p> <p>□文章などを読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つこと。 ⇒思批判表C(1)オ</p> <p>□記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。 ⇒思批判表C(2)ア</p> <p>□学校図書館などを利用して、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。 ⇒思批判表C(2)ウ</p> <p>☆理科：図鑑の活用</p>	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ	「書くこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)ウ
本で調べよう	3	<p>△本の仕組みやつくりを知り、それをもとに知りたいたいことに応じた本を探して読み、必要な事例を「読書カード」に記録する。</p> <p>△知りたいたい情報を見つけるための方法を知り、それをもとに目的に応じた本を探して読み、必要な事例を「読書カード」に記録する。</p> <p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア</p> <p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ</p> <p>△幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ</p> <p>□目的を意識して、中心となる語や文を見つけて内容を要約すること。 ⇒思批判表C(1)ウ</p> <p>□文章などを読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つこと。 ⇒思批判表C(1)オ</p> <p>□記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。 ⇒思批判表C(2)ア</p> <p>□学校図書館などを利用して、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。 ⇒思批判表C(2)ウ</p> <p>☆理科：図鑑の活用</p>	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ	積極的に、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約し、学習課題に沿って分かったことを説明しようとしている。
クラスの「生き物ブック」を作ろう	10 (書く10)	<p>■図や資料を使って、生き物の特徴を比べて書く。</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒知技(1)カ</p> <p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ</p> <p>■相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にするなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思批判表B(1)ア</p> <p>■書くこととするものの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思批判表B(1)イ</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思 批判表B(1)ウ</p> <p>■文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。 ⇒思批判表B(1)エ</p> <p>■感想や意見を伝え合い、書くこととしたことが明確になっているかなどについて、文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒思批判表B(1)オ</p> <p>■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思批判表B(2)ア</p> <p>☆理科：観察記録の書き方に活用することができる。</p>	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ)	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことより書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ア

漢字の広場 ② 漢字の音と訓	2	△漢字の音と訓について理解する。 △漢字と仮名を用いた表記。送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒知技(1)ウ △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ △比較や分類の仕方。必要な語句などの書き留め方、引用の仕方と出典の示し方、辞書や事典の使い方。 ⇒知技(2)イ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字の「音」と「訓」について知り、正しく使おうとしている。
漢字の広場 ② 二年生で学んだ漢字 ②	2 (書く2)	△絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ア
立 登場人物のせいいかを考えたながら読もう	9 (書く2)			
のらねこ		△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることにつながることに気付くこと。 ⇒知技(3)オ ■書くこととするときの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ □場面の変化や登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ □場面の変化や結びつけて、登場人物の性格や気持ちの変化、情景について具体的に思い描くこと。 ⇒思判表C(1)エ □文章などを読んで理解したことに基いて、感想や考えを持つこと。 ⇒思判表C(1)オ □文章などを読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒思判表C(1)カ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ □詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳：物語の読みをとおして、相手のことを思いやりたり、互いに理解し信頼し合ったりすることについて考える。	①[知技]様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)オ)	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ 「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)イ 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)エ 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)オ 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)カ
きせつ言葉を集めよう	1 (書く1)	△俳句には「季節」が読み込まれていることを知り、季節に関する言葉を集める。 △易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 ⇒知技(3)ア △長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使うこと。 ⇒知技(3)イ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア	長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。(〔知識及び技能〕(3)イ)	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ア
よく見て、話し合おう	1 (話す聞く)	△写真をよく見て、気づいたことや考えたことについてグループで話し合う。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △相手の話を話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア △目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア △相手の話を聴いて、話の中心が明確になるように理由や事例などを挙げながら、話の構成を考えること。 ⇒思判表A(1)イ △話の中心が伝わるように、場面を想像して言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ △必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。 ⇒思判表A(1)エ ■自分の考えとそれを支える理由や事例、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。 ⇒思判表A(1)オ △互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。 ⇒思判表A(2)ウ	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(〔思考力、判断力、表現力等〕A)ウ
六 つたえたいことをはっきりさせて書く	16 (話す聞く2、書く14)	■取材を通してわかったことを、伝えたいことを明確にして報告文にまとめ、感謝やお礼の手紙を添えて送る。		
取材して知らせよう インタビューをしよう	10 (話す聞く2、書く8)	△取材メモを上手に使って、組み立てを考えながら調べたことを文章にまとめる。 △日本語と英語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒知技(1)カ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア △必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。 ⇒思判表A(1)エ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ■書くこととするときの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を添えること。 ⇒思判表B(1)エ ■感想や意見を伝え合い、書くこととしたことが明確になっているかなどについて、文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ △質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒思判表A(2)イ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ☆社会科：校外学習での報告文の作成に役立つ。	丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(〔知識及び技能〕(1)キ)	「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをまとめている。(〔思考力、判断力、表現力等〕A)エ 「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ
手紙を書いて伝えよう	6 (書く6)	■手紙の書き方を知り、目的に合わせた手紙を書く。 △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ ■書くこととするときの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を添えること。 ⇒思判表B(1)エ ■案内状や状状を書くなど、伝えたいことを手紙に書く活動。 ⇒思判表B(2)イ ☆社会科・総合的な学習の時間：依頼状やお礼状を書く際に活用できる。	丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(〔知識及び技能〕(1)キ)	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を添えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)エ

漢字の広場 ㉔ 送り仮名	2	△送り仮名は、漢字の読みや意味をはっきりさせるはたらきをもつことを理解し、漢字を正しく使う。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒◎知技(1)ウ △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ △漢字や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。(【知識及び技能】(1)ウ)	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方、句読点を適切に打っている。(【知識及び技能】(1)ウ)	漢字で送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字を正しく使おうとしている。
漢字の広場 ㉔ 二年生で学んだ漢字 ㉔	2 (書く)	△絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ)	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】B)ウ)	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くこととしている。
7- 場面 のうらみかたに気をつけて読む	9 (書く)	□場面 の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉える。 △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ ■書こうとする中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ □場面 の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ □場面 の移り変わりや結びつけて、登場人物の性格や気持ちの変化、情景について具体的に思い描くこと。 ⇒◎思判表C(1)エ □文章などを読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つこと。 ⇒思判表C(1)オ □文章などを読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒思判表C(1)カ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア □詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳：物語の読みをとおして、友達と互いに理解し、信頼し、助け合うことについての考え方を深める。	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(【知識及び技能】(1)カ)	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】B)ウ) 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面 の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】C)エ)	漢字で登場人物の気持ちの変化について、場面 の移り変わりや結び付けて具体的に想像し、学習の見直しをもって、登場人物の言葉を考えてようとしている。
ローマ字	4	△ローマ字に興味を持ち、ローマ字の書き方について理解し、ローマ字に親しみを持ち、読めるようにする。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒◎知技(1)ウ	日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(【知識及び技能】(1)ウ)	漢字で日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(【知識及び技能】(1)ウ)	漢字で、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(【知識及び技能】(1)ウ)
ローマ字とコンピューター	1	△コンピューターにローマ字で入力する際に必要なことを知り、コンピューターを活用する。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒◎知技(1)ウ	日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(【知識及び技能】(1)ウ)	漢字で、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(【知識及び技能】(1)ウ)	漢字で、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(【知識及び技能】(1)ウ)
一 絵文字の特長をとらえよう	16 (話す聞く、書く)	○身のまわりのさまざまな絵文字がどんなことを表しているかなどについて話し合い、絵文字に対する興味や関心を高める。			
世界の人がつたわらうように	2 (話す聞く)	○身のまわりの絵(絵文字)を友達と紹介し合う。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒◎知技(1)ア △相手の話を聞いて話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒◎思判表A(1)ア ○目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。 ⇒思判表A(1)オ ○互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。 ⇒思判表A(2)ウ	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア)	話すこと「聞くこと」において、目的を意識し、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(【思考力、判断力、表現力等】A)ア)	漢字で集めた材料を比較したり分類したりして、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(【思考力、判断力、表現力等】A)ア)
くらしと絵文字	7 (書く)	□段落のつながりに気をつけて文章を読み、絵文字を説明する文章を書く。 △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ■書こうとする中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ □段落相互の関係に着目しながら、考えと理由、事例の関係などを叙述を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)ア □目的を意識して、中心となる語や文を見つけて内容を要約すること。 ⇒◎思判表C(1)ウ □文章などを読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つこと。 ⇒◎思判表C(1)オ □文章などを読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒思判表C(1)カ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア □記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。 ⇒思判表C(2)ア □学校図書館などを利用して、事実や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。 ⇒思判表C(2)ウ	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(【知識及び技能】(1)カ) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア)	「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒◎思判表B(1)イ 「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(【思考力、判断力、表現力等】C)ウ) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことを基に、感想や考えを持っている。(【思考力、判断力、表現力等】C)オ)	積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見直しをもって、身のまわりの絵文字について説明する文章を書くこととしている。



ことわざ・慣用句	<p>4 (書ク1)</p> <p>△ことわざや慣用句の意味を知り、ふだんの生活の中で使おうことができるように、カードを作る。</p> <p>△長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。 ⇒③知技(3)イ          ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒③          思判表B(1)ウ</p> <p>■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p> <p>☆総合的な学習の時間・道徳：ことわざの成り立ちや意味について興味をもって調べたり、我が国の伝統や文化に目を向けたりする。</p>	<p>長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。(【知識及び技能】(3)イ)</p>	<p>「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】B)ウ)</p> <p>積極的に、長い間使われてきたことわざや慣用句の意味を知り、学習の見直しをもってカードにまとめようとしている。</p>
詩を楽しむ 夕日がせなかをおおしてくる	<p>2</p> <p>□音読したり、イメージを広げたりして、詩の世界を楽しむ。</p> <p>△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ          △文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読すること。 ⇒知技(1)ク          △幅広い読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ          □登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面や場面を結び付けて具体的に想像すること。 ⇒③思判表C(1)エ          □文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつこと。 ⇒③思判表C(1)オ          □詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>	<p>文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(【知識及び技能】(1)ク)</p>	<p>「書くこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや場面を結び付けて具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】C)エ</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつこと。(【思考力、判断力、表現力等】C)オ</p> <p>進んで、情景について具体的に想像し、学習の見直しをもって音読したりイメージを広げたりしようとしている。</p>
三 調べて発表しよう	<p>7 (話す聞く)</p> <p>◇町の行事について調べ、図や写真、表など、資料を選んで発表する。</p>		
町の行事について発表しよう	<p>△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒③知技(1)イ          △様々な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ          △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒③知技(2)イ          △目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア          ◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考へること。 ⇒思判表A(1)イ          ◇話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 ⇒③思判表A(1)ウ          ◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。 ⇒思判表A(1)エ          ◇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒思判表A(2)イ</p>	<p>相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(【知識及び技能】(1)イ)</p> <p>比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(【知識及び技能】(2)イ)</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、学習の見直しをもって、資料を使って発表しようとしている。(【思考力、判断力、表現力等】A)ウ)</p> <p>進んで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、学習の見直しをもって、資料を使って発表しようとしている。</p>
文の組み立て	<p>2</p> <p>△主語と述語や修飾語との関係を理解して、文の組み立てを捉える。</p> <p>△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ          △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解すること。 ⇒③知技(1)カ</p>	<p>主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(【知識及び技能】(1)カ)</p>	<p>進んで主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見直しをもって、文の組み立てを捉えようとしている。</p>
漢字の広場 ⑤ 漢字の組み立て	<p>2</p> <p>△かみむら・あしなどの漢字の構成についての知識を得、漢字を正しく読み書きしたりする。</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を調べること。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ          △漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。 ⇒③知技(3)ウ</p>	<p>漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。(【知識及び技能】(3)ウ)</p>	<p>進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解している。学習の見直しをもって、漢字を正しく読み書きしたりしようとしている。</p>
漢字の広場 ⑥ 2年生で学んだ漢字 ⑤	<p>2 (書ク2)</p> <p>△絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を調べること。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ          △様々な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ          ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒③思判表B(1)ア          ■時や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ</p>	<p>前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ)</p>	<p>「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(【思考力、判断力、表現力等】B)ア)</p> <p>積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くこととしている。</p>
田 図や写真と文章を、むすびつけて読もう	<p>7 (書ク2)</p> <p>□段落のつながりに気をつけながら写真と文章を結びつけて読み、考えたことをまとめる。</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒③知技(1)カ          △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒③知技(2)ア          △幅広い読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ          ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ          □段落相互の関係に着目しながら、考えと理由、事例の関係などを叙述を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)ア          □目的を意識して、中心となる語や文を見つけて内容を要約すること。 ⇒思判表C(1)ウ          □文章などを読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒③思判表C(1)カ          ■集めた資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。 ⇒思判表B(2)ア          □記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。 ⇒思判表C(2)ア</p>	<p>主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(【知識及び技能】(1)カ)</p> <p>考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア)</p>	<p>「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】B)ウ)</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつこと。(【思考力、判断力、表現力等】C)オ)</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(【思考力、判断力、表現力等】C)カ)</p> <p>進んで、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつこと、学習の見直しをもって、友達の感想や意見を交換しようとしている。</p>
十二支と月のよび名	<p>1</p> <p>△暮らしの中に今なお使われている昔からの言い方について知り、さまざまな言葉を探して感じたことを書く。</p> <p>△長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。 ⇒③知技(3)イ</p>	<p>長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。(【知識及び技能】(3)イ)</p>	<p>積極的に、長い間使われてきた十二支や月の呼び名を知り、学習の見直しをもって、暮らしの中に使われている昔からの言い方を見つけようとしている。</p>
五 つたえたいことの中心を明らかにして書こう	<p>8 (書ク8)</p> <p>■身近な生活の中から自分に合った題材を見つけ、段落相互の関係を考えてながら、中心になる場面をはっきりさせて文章を書く。</p>		
強心にのこっていることを	<p>△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ⇒③知技(1)オ          △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒③知技(2)ア          ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア          ■書くこととするものの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせ、段落相互の関係に注意しながら、文章の構成を考へること。 ⇒思判表B(1)ウ          ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒③思判表B(1)ウ          ■文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。 ⇒③思判表B(1)エ          ■感想や報告を伝えたい、書こうとしたことが明確になっているかなどについて、文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒③思判表B(1)オ          ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p>	<p>様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っていること。 ⇒③知技(1)オ</p> <p>考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア)</p>	<p>「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】B)ウ)</p> <p>「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(【思考力、判断力、表現力等】B)エ)</p> <p>「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたい。(【思考力、判断力、表現力等】B)オ)</p> <p>粘り強く間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整え、学習の見直しをもって、思い込みに残っていることについて文章を書く。</p>

漢字の広場 ㊦ 二つの漢字の組み合わせ	2	△漢字二つの言葉の構成について、問題を解きながら確認し、二つの漢字のつながり方を考える。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を讀むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を書次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)		積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、漢字二つの言葉の構成について考えようとしている。
漢字の広場 ㊦ 二年生で学んだ漢字 ㊦	2 (書く2)	△絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を讀むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を書次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒知技(1)カ ■丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ ■間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。⇒◎思判表B(1)エ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)エ	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くようとしている。
六、登場人物の気持ちのうっつきを 読もう	10 (書く2)	□登場人物の心の動きを想像しながら、消えていったおにたに手紙を書く。			
おにたのぼうし		△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ △文章全体の内容や構成の全体を把握しながら音読すること。⇒知技(1)ク △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア △書かすこととそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(3)オ ■書くこととそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ □場面の変化や登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。⇒思判表C(1)イ □場面の移り変わりや結びつけて、登場人物の性格や気持ちの変化、情景について具体的に思い描くこと。⇒思判表C(1)エ □文章などを讀んで理解したことに基いて、感想や考えを持つこと。⇒◎思判表C(1)オ □文章などを讀んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。⇒◎思判表C(1)カ ■家内状や札状を書くなど、伝えたいことを手紙に書く活動。⇒思判表B(2)イ ■詩や物語などを讀み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。⇒思判表C(2)イ ★道徳：物語の読みをおして、友達と互いに理解し、信頼し、助け合うことについての考え方を深める。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)オ)	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ 「読むこと」において、文章を讀んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)オ 「読むこと」において、文章を讀んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(〔思考力、判断力、表現力等〕C)カ	進んで文章を讀んで理解したことに基いて、感想や考えをもち、学習の見直しをもって、登場人物に宛てて手紙を書くようとしている。
国語の学習 これまで これから	2 (話す聞く1,書く1)	◇一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、すすんで学習できるようにする。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ ◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒◎思判表A(1)ア ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ◇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。⇒思判表A(2)イ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア	相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(〔知識及び技能〕(1)イ)	「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(〔思考力、判断力、表現力等〕A)ア 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕B)ウ	積極的に伝え合うために必要な事柄を選び、今までの学習を生かして、1年間の国語の学習を振り返ったり学年への希望を話し合ったりしようとしている。









単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵の具と水のハーモニー	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筆の使い方や水の量を工夫しよう。</li> <li>○絵の具遊びから、描きたいことを考えよう。</li> <li>○絵の具で描くことをたのしもう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筆の動かし方や水の量を変えるなどすることを通して、あらわれる形や色などの感覚を理解している。</li> <li>○水彩絵の具を使ってできる形や色の感じ、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○絵の具遊びで描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地よさから思いを広げて、表したい感じを考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水彩絵の具でいろいろな描き方を試し、描く心地よさを味わい、表すことを楽しもうとしている。</li> </ul>
ふわふわ空気の積み木	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○袋の積み方やつなぎ方を工夫しよう。</li> <li>○袋を積んだりつないだりして、つくりたいものを考えよう。</li> <li>○空気の積み木のふわふわした心地よさをたのしもう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○膨らませたビニール袋をたくさんつくり触れたりしながら、形や色、ビニール袋の感触や活動する場所の感じがわかっていく。</li> <li>○膨らませたビニール袋の積み方やつなぎ方など、体全体を働かせ、活動を工夫してつくりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○膨らませたビニール袋の形や色、感触、活動する場所の感じをもとに、自分のイメージを広げながら、造形的な活動を思いついたり、新しく変化させたりして、どのように活動するか考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○膨らませたビニール袋の感触などの心地よさを味わい、友達と協力してたのしもうとしている。</li> </ul>
にじんで広がる色の世界	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○にじみでできる形や色の組み合わせを工夫しよう。</li> <li>○にじみで表すことをたのしもう。</li> <li>○にじみでできた形や色からお話を考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかっていく。</li> <li>○にじみでできる形や色をつくり、それらの組み合わせを工夫して表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○にじみでできた形や色の感じから、自分のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、表し方を考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○にじみを生かして自分の色の世界を表すことをたのしもうとしている。</li> </ul>
光サンドイッチ	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○光と影の形や色の組み合わせを工夫しよう。</li> <li>○光を通した材料からつくりたい飾りを考えよう。</li> <li>○光を通した美しさをたのしもう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○光を通す材料を扱ったり形を変えたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかっていく。</li> <li>○光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたり組み合わせたりして工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたり組み合わせたりして工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○光を通したときの材料や飾りの美しさをたのしもうとしている。</li> </ul>
つかってたのしいカラフルねん土	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○たのしく使えるように、形や色の組み合わせ方を工夫しよう。</li> <li>○軽量紙粘土に絵の具を混ぜて、使ってたのしいものをつくる。</li> <li>○カラフル粘土で、使ってたのしいものを考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの経験を生かし紙粘土に色をつけたりしながら、使ってたのしいものを工夫して表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カラフル粘土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使ってたのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カラフル粘土でつくることをたのしもうとしている。</li> </ul>
でこぼこさん大集合	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○版のつくり方や写し方を工夫しよう。</li> <li>○「でこぼこさん」とそのお話を考えよう。</li> <li>○版をつくり、写したりすることをたのしもう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○凹凸のあるさまざまな材料を集めたり、紙に写したりすることを通して、あらわれる形や色の感じがわかっていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○凹凸のあるさまざまな材料を集めたり、紙に写したりすることを通して、あらわれる形や色の感じがわかっていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな材料を組み合わせたり版をつくり、写したりすることをたのしもうとしている。</li> </ul>
トントングッチ、コンコンビー玉	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○釘の打ち方や材料のつけ方を工夫しよう。</li> <li>○ビー玉が転がるののこぎりを考えよう。</li> <li>○みんなで釘を打ち、つくったコースで遊ぼう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○金づちを使って釘を打ったり、材料をつけたりしながら、形や色の感じがわかっていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○釘打ちでできる、ビー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、釘の位置を試したり、ビー玉の動きを確かめたりしながら、たのしい仕組みを考えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と協力して、釘を打つ感触をたのしみながら、ビー玉がいろいろな動きをする形や仕組みに関心をもち、つくったコースで遊ぶことをたのしもうとしている。</li> </ul>
集めて、ならべてマイコレクション	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料の形や色の特徴を知ろう。</li> <li>○互いのコレクションのよさを見つけよう。</li> <li>○身近な材料を集めたり、並べたりすることをたのしもう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然のものを集めて、実際に触れながら、形や色の特徴やその感じがわかっていく。</li> <li>○形や色、手触りなどから、自分なりのいろいろな仲間分けを思いついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コレクションの詰め方や並べ方、形や色などの感じをもとに、自分や友達のコレクションのよさを見つけようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○形や色、手触りなど自分の気に入った感じの自然の材料を集めたり、箱に並べたりすることをたのしもうとしている。</li> </ul>
さわってわくわく	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料の組み合わせ方を工夫しよう。</li> <li>○触った感じを生かして、表したいことを見つけよう。</li> <li>○材料の触り心地のよさや違いをたのしもう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料を触ったり、見たりして、材料の形や色などの感じをとらえている。</li> <li>○材料に触れながら、形を変えたり、並べたり、組み合わせ方を考えたりなどの工夫をして表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○触り心地から仲間分けをしたり並べたりしながら、表したいことを見つけ、どのように貼るかを考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料の触り心地のよさや違いをたのしもうとしている。</li> </ul>
のこぎりひいてザクザク	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○のこぎりの使い方や木切れの組み合わせ方を工夫しよう。</li> <li>○のこぎりで木を切ることをたのしもう。</li> <li>○木切れから、つくりたいものを考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○のこぎりで角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかっていく。</li> <li>○のこぎりの扱いに慣れ親しみながら、どのようにのこぎりを使うとよいか考え、切り方や木切れの組み合わせ方を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○切ってきた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせるかを考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木の感触に親しみながら、のこぎりを切って角材を切ることをたのしもうとしている。</li> </ul>
生まれかわったなまかたち	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料の形や色の組み合わせ方を工夫しよう。</li> <li>○材料を変身させることをたのしもう。</li> <li>○材料からつくりたいなまかを考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料に触れたり、変形させたり、組み合わせたりしながら、形や色などの感じがわかっていく。</li> <li>○材料の変換を試しながら、表したいことに合わせて、形や色の組み合わせ方などの工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○靴下や手袋に新聞紙などを詰めたり、ひもなどで結んだりした形や色などの感じをもとに、イメージを広げてつくりたいものを想像し、材料を生かして表したいなまかを考えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○靴下や手袋などの材料の形を変えていくことをたのしもうとしている。</li> </ul>

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体ほぐしの運動	3	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。	・自己の課題を見つけ、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりにして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・体ほぐしの運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
多様な動きをつくる運動	5	・体のバランスを取る動き、体を移動する動き、用具を使った動き、力試しの動きを身に付け、それらを工夫したり、組み合わせたりする。	・多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。 (ア)体のバランスをとる運動 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つ、渡るなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動を通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。 (イ)体を移動する運動 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねる、登る、下りなどの動きで構成される運動や、一定の速さでのかけ足などの運動を通して、体を移動する動きを身に付けることができる。 (ウ)用具を操作する運動 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗る、跳び越すなどの動きで構成される運動を通して、巧みに用具を操作する動きを身に付けることができる。 (エ)力試しの運動 人や物を押す、引く、運ぶ、支える、ぶら下がるなどの動きや、力比べをするなどの動きで構成される運動の行い方を知り、力を出し切ったり力の入れ方を加減したりする動きができる。 (オ)基本的な動きを組み合わせる運動 バランスをとりながら移動する、用具を操作しながら移動するなど二つ以上の動きを同時に行ったり、連続して行ったりする運動を通して、基本的な動きの組み合わせた動きを身に付けることができる。	・自己の課題を見つけ、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりにして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。

# 令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ゲーム(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名: 江戸川区立篠崎第三小学校

<p>マット運動</p>	<p>6</p>	<p>・自分の力に合った技を身に付け、できる技の繰り返しや、組み合わせ技に挑戦する。</p>	<p>・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。          ・自分の力に合った回転系(前転など)や巧技系(壁倒立など)の基本的な技ができる。          ・基本的な技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。          ○前転          ○後転          ○開脚後転          ○補助倒立ブリッジ          ○側方倒立回転          ○壁倒立          ○壁登り倒立          ○頭倒立</p>	<p>・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。          ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。          ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。          ・見付けたポイントや友達との技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。</p>	<p>・マット運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。          ・マットなどの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。          ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。          ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。          ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。</p>
<p>鉄棒運動</p>	<p>6</p>	<p>・鉄棒の技に挑戦したり、技を組み合わせたりして楽しむ。</p>	<p>・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。          ・自分の力に合った支持系の基本的な技ができる。          ・基本的な技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。          ○前回り下り          ○かかえ込み前回り          ○転向前下り          ○膝掛け振り上がり          ○前方片膝掛け回転          ○補助逆上がり          ○かかえ込み後ろ回り          ○後方片膝掛け回転</p>	<p>・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。          ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。          ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。          ・見付けたポイントや友達との技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。</p>	<p>・鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。          ・鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。          ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。          ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。          ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。</p>
<p>跳び箱運動</p>	<p>8</p>	<p>・自分の力に合った「基本の技」を身に付けたり、「発展技」に挑戦したりする。</p>	<p>・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。          ・自分の力に合った切り返し系(開脚跳びなど)や回転系(台上前転など)の基本的な技ができる。          ・基本的な技に十分に取組んだ上で、それらの発展技に取り組むことができる。          ○開脚跳び(発展技: かかえ込み跳び)          ○台上前転          ○首はね跳び</p>	<p>・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。          ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。          ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。          ・見付けたポイントや友達との技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。</p>	<p>・跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。          ・跳び箱、踏み切り板などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。          ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。          ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。          ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。</p>

# 令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ゲーム(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

かけっこ・リレー	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなくねくねコースで競走したり、決まりを決めてリレーをしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけっこ・リレーの行い方がわかる。</li> <li>・スタート姿勢から素早く走り出すことができる。</li> <li>・真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。</li> <li>・走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。</li> <li>・折り返すときにコーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。</li> <li>・最後まで全力で走ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫してロープを使ったりくねくねコースや、折り返しリレーなどのコースを作っている。</li> <li>・かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。</li> <li>・競走の仕方について考え、競走の規則などを話し合って決めたり、選んだりしている。</li> <li>・かけっこ・リレーのポイントや友達の良い動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。</li> <li>・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。</li> <li>・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。</li> <li>・勝敗を受け入れている。</li> <li>・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。</li> <li>・かけっこ・リレーをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。</li> </ul>
小型ハードル走	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型ハードルをいろいろなリズムで走り越したり、自分に合ったリズムで走り越したりして、競走する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型ハードル走の行い方がわかる。</li> <li>・インターバルの距離やいろいろな小型ハードルの高さに応じて調子よく小型ハードルを走り越すことができる。</li> <li>・一定の間隔に並べられた小型ハードルを一定のリズム(3歩のリズム)で走り越すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな小型ハードル走のコースや、調子よく走り越せるコースを作り、自分に合ったコースを選んでいる。</li> <li>・小型ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。</li> <li>・小型ハードル走のポイントについて見合ったり、教え合ったりしている。</li> <li>・競走の仕方について考え、競走の規則などを話し合って決めたり、選んだりしている。</li> <li>・小型ハードル走のポイントや友達の良い動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型ハードル走に進んで取り組んでいる。</li> <li>・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。</li> <li>・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。</li> <li>・勝敗を受け入れている。</li> <li>・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。</li> <li>・小型ハードル走をする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。</li> </ul>
走り幅跳び	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い助走から強く踏み切って遠くに跳び、きまりを工夫して記録に挑戦したり、跳び比べをしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走り幅跳びの行い方がわかる。</li> <li>・5～7歩程度のリズムカルな助走から踏み切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳ぶことができる。</li> <li>・膝を柔らかく曲げて、両足で着地することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走り幅跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。</li> <li>・走り幅跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、遠くに跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。</li> <li>・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合って決めたり、選んだりしている。</li> <li>・走り幅跳びのポイントや友達の良い動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走り幅跳びに進んで取り組んでいる。</li> <li>・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。</li> <li>・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。</li> <li>・勝敗を受け入れている。</li> <li>・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。</li> <li>・走り幅跳びをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。</li> </ul>

# 令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ゲーム(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名: 江戸川区立篠崎第三小学校

<p>水泳運動</p>	<p>8</p>	<p>・いろいろな浮き方やもぐり方、泳ぎ方をする。</p>	<p>【浮いて進む運動】          ・浮いて進む運動の行い方がわかる。          ・友達に手を引かれたり足を押されたりした勢いを利用して、伏し浮きの姿勢で続けて進むことができる。          ・プールの底や壁を両足で蹴った勢いを利用して進むけ伸びができる。          ・補助具を用いて浮き、呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎができる。          ・水面に顔を付け、手や足をゆっくりと動かし進むなど、呼吸を伴わない初歩的な泳ぎをすることができる。          ・ばた足泳ぎやかえる足泳ぎなど、頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、手や足をバランスよく動かし、呼吸をしながら進むことができる。</p> <p>【もぐる・浮く運動】          ・もぐる・浮く運動の行い方がわかる。          ・呼吸を調整しながらプールの底にタッチ、股ぐり、変身もぐりなどのいろいろなもぐり方ができる。</p> <p>・補助具を使って浮力を生かしたいろいろな浮き方をする          ことができる。          ・大きく息を吸い込み全身の力を抜いて、背浮き、だるま浮き、変身浮きなどのいろいろな姿勢で浮くことができる。          ・だるま浮きやポピングなどを活用した簡単な浮き沈みができる。</p>	<p>・自分で立てためあてに挑戦し、自分の課題を見つけている。          ・補助具を活用したり友達に補助してもらったりするなど、自分の力に合った練習の仕方を選んでる。          ・友達のよい動きや課題の解決のための動きのポイントを見付け、言葉や動作で伝えている。          ・自分で試したいいろいろなもぐり方や浮き方を友達に伝えたり、互いのよい動きの真似をしたりしている。</p>	<p>・水泳運動に進んで取り組んでいる。          ・け伸びをする際に順番にスタートしたり、決まった場所で友達と練習したりするなど、きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。          ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。          ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に、友達の考えを認めている。          ・準備運動や整理運動を正しく行う、パディで互いを確認しながら活動する、シャワーを浴びてからゆっくりと水の中に入る、プールに飛び込まないなど、水泳運動の心得を守って安全を確かめている。</p>
<p>ゴール型(タグラグビー)</p>	<p>7</p>	<p>・相手をかわしたり、パスをしたりしながら、攻め方を工夫してタグラグビーをする。</p>	<p>・タグラグビーの行い方がわかる。          ・味方にボールを手渡したり、パスを出したり、ゴールにボールをトライすることができる。          ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。</p>	<p>・誰もが楽しくタグラグビーに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、得点の仕方などの規則を工夫している。          ・タグを取ったり、トライするために、簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。          ・課題の解決のために考えたことを、動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。</p>	<p>・タグラグビーに進んで取り組んでいる。          ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。          ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。          ・勝敗を受け入れている。          ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。          ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。</p>
<p>ベースボール型(ラケットベースボール)</p>	<p>6</p>	<p>・ボールを打って得点したり、ボールを取ってアウトにしたりして、ラケットベースボールをする。</p>	<p>・ラケットベースボールの行い方がわかる。          ・ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。          ・投げる手と反対の足を一步前に踏み出してボールを投げることができる。          ・向かってくるボールの正面に移動し、ボールを捕ることができる。          ・ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。</p>	<p>・誰もが楽しくラケットベースボールに参加できるように、プレイヤーの人数や得点の仕方などの規則を工夫している。          ・攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。          ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。</p>	<p>・ラケットベースボールに進んで取り組んでいる。          ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。          ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。          ・勝敗を受け入れている。          ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。          ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。</p>

# 令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ゲーム(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名: 江戸川区立篠崎第三小学校

<p>ネット型(フロアーボール)</p>	<p>6</p>	<p>・ボールをはじいたり打ったりしながら、攻め方を工夫して、フロアーボールをする。</p>	<p>・フロアーボールの行い方がわかる。 ・いろいろな高さのボールを片手もしくは両手を使ってはじいたり、打ちつけたりすることができる。 ・相手コートから転がってきたボールを片手もしくは両手を使って相手コートに返球することができる。 ・ボールの方向に体を向けたり、ボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。</p>	<p>・誰もが楽しくフロアーボールに参加できるように、プレイヤーの人数や得点の仕方などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるために、簡単な作戦を話し合っ決めてたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。</p>	<p>・フロアーボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。</p>
<p>ゴール型(セストボール)</p>	<p>8</p>	<p>・パスやシュートをしながら、攻め方を工夫してセストボールをする。</p>	<p>・セストボールの行い方がわかる。 ・ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ・味方にボールを手渡ししたり、パスを出したり、シュートしたりすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。</p>	<p>・誰もが楽しくセストボールに参加できるように、プレイヤーの人数や得点の仕方、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるために、シュートにつながる簡単な作戦を話し合っ決めてたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。</p>	<p>・セストボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。</p>
<p>表現・忍者参上!</p>	<p>6</p>	<p>・忍者の忍びや、対決などの特徴を捉えて、表したい感じを踊る。</p>	<p>・表現「忍者参上!」の行い方がわかる。 ・表現「忍者参上!」ならではのふさわしい動き(忍び込む、戦うなど)で特徴を捉えたりすることができる。 ・表現「忍者参上!」の動きの誇張や変化の付け方として、表したい感じを、跳ぶ一転がる、素早く動く一急に止まるなど動きに差を付けて誇張したり、「追いつ・追われつ」や「戦い・対決」などの2人組やグループで対立する動きで変化を付けたりして、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ・ひと流れの動きへの工夫の仕方としては、表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面など変化のある動きをつなげてメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きに工夫して感じを込めて踊ることができる。</p>	<p>・表現「忍者参上!」の動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・表現「忍者参上!」におけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために考えたことや友達のよい動きを伝えている。</p>	<p>・表現「忍者参上!」に進んで取り組んでいる。 ・表現「忍者参上!」に取り組む際に、誰とも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。</p>
<p>リズムダンス</p>	<p>6</p>	<p>・ロックやサンバのリズムに乗って弾んで踊ったり、動きに変化をつけたり、友達と関わり合っって踊ったりする</p>	<p>・リズムダンスの行い方がわかる。 ・ロックサンバのリズムダンスにおいて、変化をつけた動きを入れながら、いくつかの曲を即興的に踊ることができる。 ・2~3人組でロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。</p>	<p>・ロックやサンバのリズムの動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・ロックやサンバのリズムにおけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫して考えた動きと一緒に踊るなどで伝えている。</p>	<p>・リズムダンスに進んで取り組んでいる。 ・リズムダンスに取り組む際に、誰とも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。</p>
<p>健康って、なに?</p>	<p>2</p>	<p>健康って、なに? ・心や体の調子がよい状態が健康だということ、健康は自分自身の生活や周囲の環境が要因になって変化することを理解できるようにする。 ・健康であるためには何が大切なのかを考え、書いたり伝えたりできるようにする。 ・健康の状態や健康のよさについて資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。</p>	<p>・健康の状態には、気持ちが意欲的であること、元気なこと、具合の悪いところがないことなどの心や体の調子がよい状態があることを理解している。 ・健康の状態には、1日の生活の仕方などの主体の要因や身の回りの環境の要因が関わっていることを理解している。 ・心や体が健康であることは、人と関わりながら明るく充実した毎日の生活を送れることにつながり、健康がかけがえのないものであると理解している。</p>	<p>・1日の生活の仕方などの主体の要因や身の回りの環境の要因から健康に関わる課題を見付けている。 ・こうしているから健康でいられるということを、自分の体と回りの環境に分けて考え、説明している。 ・健康な心身の状態や、健康のよさについて考え、説明している。 ・健康に過ごすために考えた方法を学習カードなどに書いて、発表したりして伝えている。</p>	<p>・健康や、自分の1日の生活の仕方に関心を示し、規則正しい生活の仕方について、自分の日常生活と照らし合わせて注意を向けている。 ・自分が健康であるために毎日の運動、運動、休養・睡眠に関心を示し、自分の毎日の生活をよりよくしようとしている。</p>

# 令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ゲーム(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

健康な一日の生活	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養・睡眠の調和のとれた生活を続けることが大切であると理解できるようにする。</li> <li>・健康な生活に関わる課題を見つけ、その解決に向けて考え、書いたり伝えたりできるようにする。</li> <li>・自分の1日の生活を振り返り、健康増進のために進んで学習に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の保持増進には、1日の生活の仕方が深く関わっており、1日の生活のリズムに合わせて、運動、食事、休養及び睡眠をとることが必要であることを理解している。</li> <li>・日常生活に運動を取り入れることの大切さについて理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動、食事、休養・睡眠などの生活のリズムが崩れるとどうなるかを考え、説明している。</li> <li>・運動、食事、休養及び睡眠について学習したこと、自分の生活とを比べて、自分の生活リズムを整えるための方法を考え、伝え合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の運動、食事、休養・睡眠に関心を示し、生活の仕方に気をつけて自分に合った生活リズムを進んでつくり出している。</li> </ul>
体の清潔	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日を健康に過ごすには、体や衣服、ハンカチなどを清潔に保つことが必要であることを理解できるようにする。</li> <li>・学習したことや自分の生活を振り返り、体の清潔について考え、書いたり伝えたりする。</li> <li>・体や衣服などの清潔に関心をもち、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の保持増進には、手や足などの清潔、ハンカチや衣服などの清潔を保つことが必要であると理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手を洗う必要性について考え、発表したりして伝え合っている。</li> <li>・自分の生活を振り返り、手洗いするとよい場面について考え、伝え合っている。</li> <li>・ハンカチや衣服を毎日取り換える理由について考え、発表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体や衣服を清潔にすることについて関心をもち、清潔に保とうとしている。</li> </ul>
身の回りの環境	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の保持増進には、生活環境が関わっており、部屋の明るさの調節や換気など、生活環境を整えることが必要であることを理解できるようにする。</li> <li>・部屋の明るさの調節や換気などの学習したこと、自分の生活とを比べたり関連付けたりして、生活環境を整えるための方法を考えることができるようにする。</li> <li>・自分の生活を見直すことを通して、生活環境を整えるために自分でできることに気づかせ、実践する意欲を持つことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の保持増進には、生活環境が関わっており、部屋の明るさの調節や換気などの生活環境を整えることが必要であると理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暗い部屋でのものの見え方について考え、説明している。</li> <li>・窓を閉め切った室内にいと部屋の空気はどうなるかを考え、説明している。</li> <li>・部屋の明るさの調節や換気などの観点から、自分の生活で見直すべき課題を見つけ、解決方法を伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活に関心をもち、部屋の明るさの調節や換気などの生活環境を整えようとしている。</li> </ul>

教科	外国語活動	学年	第3学年
----	-------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit1 Hello! あいさつをして友だちになろう	2	○世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。 ○名前を言って挨拶をし合う。 ○相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わそうとする。	○世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しんでいる。	○名前を言って挨拶をし合っている。	○相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わそうとしている。
Unit2 How are you? ごきげんいかが？	2	○表情やジェスチャーの大切さに気付き、感情や状態を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をし合う。 ○表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶をしようとする。	○表情やジェスチャーの大切さに気付き、感情や状態を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をし合っている。	○表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶をしようとしている。
Unit3 How many? 数えてあそぼう	4	○日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気付き、1から20までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。 ○数について尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとする。	○日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気付き、1から20までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しんでいる。	○数について尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとしている。
Unit4 I like blue. 好きなものをつたえよう	4	○多様な考え方があることや、音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付き、色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○自分の好みを伝え合う。 ○相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとする。	○多様な考え方があることや、音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付き、色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○自分の好みを伝え合っている。	○相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとしている。
Unit5 What do you like? 何が好き？	4	○日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。	○日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとしている。
Unit6 ALPHABET アルファベットとなかよし	4	○身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。 ○自分の姓名の頭文字を伝え合う。 ○相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	○身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しんでいる。	○自分の姓名の頭文字を伝え合っている。	○相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。
Unit7 This is for you. カードをおくろう	5	○日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	○日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。
Unit8 What's this? これはなに？	5	○外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○クイズを出したり答えたりし合う。 ○相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	○外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○クイズを出したり答えたりし合っている。	○相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。
Unit9 Who are you? きみはだれ？	5	○日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。 ○絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。	○日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。	○絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとしている。

教科	総合的な学習の時間	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
友だち学級 (1年生を迎える会でお祝いしよう・篠三祭りを成功させよう・はこべ学級との交流・6年生を送る会で感謝の思いを伝えよう)	12	○1年生の入学や6年生の卒業を祝い、全校で楽しめる発表を考えて活動する。 ○今まで学習したことや得意なことを活かしたコーナーを計画	○相手の身になって考え、行動できる大切さを理解している。	○今まで学習したことを活かして、表現しようとしている。	○はこべ学級の友達、1年生や6年生など異学年との交流を通して、自分の生活についてじっくり考え、自分に何ができるかを考えて進んで関わろうとしている。
江戸川探検隊！ (篠田堀探検隊・小松菜に夢中・篠原風鈴見学)	23	○地域の動植物や歴史、特産品などについて理解を深め、調べてまとめる。	○調べ学習を通して、地域のよいところについて理解している。	○調べ学習で得た情報を取捨選択し、まとめ発表している。	○自分が調べてみたいところを見つけ、目的意識をもって活動している。

教科	特別活動	学年	第3学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級のめあてを決めよう	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
自分のめあてを決めよう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★運動会を成功させよう	3	運動会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	運動会を通して成長する上での課題を見だし、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	運動会を通して成長する上での課題に気づき、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	運動会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしている。
雨の日の過ごし方	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考慮することを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健康で安全な生活の仕方を身に付けている。	安全に日常生活をおくる上での課題に気づき、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
1学期はどうでしたか(夏休みの計画を立てよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
2学期のめあてを決めよう(夏休みを振り返ろう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★篠三まつりを成功させよう	3	篠三まつりを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	篠三まつりを通して成長する上での課題を見だし、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	篠三まつりを通して成長する上での課題に気づき、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	篠三まつりに粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしている。
★学習発表会を成功させよう	6	学習発表会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	学習発表会を通して成長する上での課題を見だし、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	学習発表会を通して成長する上での課題に気づき、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	学習発表会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしている。
2学期のめあてを振り返ろう(楽しい冬休みにしよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
3学期のめあてを決めよう(冬休みを振り返ろう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
寒さに負けず元気に過ごそう	2	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考慮することを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健康で安全な生活の仕方を身に付けている。	安全に日常生活をおくる上での課題に気づき、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
クラブ活動を見学しよう	1	クラブ活動における自己の役割を自覚して、協働することの意義を理解し、学級生活を楽しく豊かにするために必要となることについて主体的に考えて行動する。	自己の役割を自覚し、自己の良さを生かしながら、学級生活を楽しく豊かにするために必要な知識や行動の仕方を理解している。	よりよいクラブ活動にするための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、創意工夫を發揮したり、他者と協力したりして実践している。	学級生活を楽しく豊かにするために、それぞれの係に応じた計画を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して、主体的に行動しようとしている。
もうすぐ4年生(楽しい春休みにしよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。次の学年への意識を高めようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

教科	読書科	学年	第3学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本の世界を楽しもう 俳句の本を読もう 調べる名人になろう	12	○探したい本がある場所が分かる。 ○図書資料の探し方が分かり、2つ以上の資料を比べて読むことができる。 ○お気に入りの俳句を選んだリーフレットを作ることができる。	○百科事典・図鑑の目次や索引などの仕組みを理解している。 ○自分で選んだ本を読み、必要な情報を書き抜いたり、短い言葉や分で表している。	○いろいろな俳句の本を読み、自分の好きな俳句を集めたパンフレットを作り、クラスのみんに伝えていく。	○俳句の本を進んで読み、自分の好きな俳句をパンフレットにまとめようとしている。 ○進んで百科事典や図鑑などを使って調べようとしている。
スーザン・バーレイの本を読もう 「生き物のすみかを調べよう」	15	○調べたい生き物を決め、その特徴を図鑑で調べてわかったこと、発見したこと、思ったことなどにまとめて発表することができる。	○目的に応じた資料や本を探し、いっような情報を抜き出し、短い言葉や分で表している。	○生き物について調べたことを自分の感想を入れて、画用紙にまとめている。	○疑問の解決のために探した生き物の本を進んで読もうとしている。 ○進んで疑問を見つけ、主体的に学んでいこうとしている
「昔の道具について調べよう」	8	○調べたい昔の道具を決め、図鑑などで調べてわかったことや気付いたことなどをまとめて発表することができる。	○目的に応じた資料や本を読み、目的に応じて必要な情報を抜き出し、記録している。	○調べたことや自分の考えを分かりやすくまとめ、表現している。	○進んで本を読み、調べたことを紹介しようとしている。